

地区GMT・シニアアクション・GLT・FWT・クラブ活性化委員会からの報告



9月16日・泉佐野市・スターゲイトホテルに於いてGMT・シニアアクション・GLT・FWT・クラブ活性化の5委員会の合同で、委員の意識向上のための、研修会をワークショップ形式で実施しました。まず、1つ目のテーマ「あなたの考える地区委員として果たすべき役割とは？」では、委員会で委員長から指示があったことを所属リジョンに持ち帰り、各クラブへ的確に伝える。他の地区委員と連携をとり、リジョンが動きやすいように積極的に行動する。等の意見が多くありました。理由は何であれ、初めての地区委員をされた方や何度も地区委員を経験されている方も含め、地区委員は重責のある職であることを再認識されたことと思います。

地区GMT委員長 野村 誠
 地区シニアアクション委員長 田中 義秋
 地区GLT・次世代リーダー育成委員長 楠 富晴
 地区FWT委員長 笹部 美千代
 地区クラブ活性化委員長 西島 善治

2つ目のテーマ「100周年を迎えるにあたり、10年後もライオンズクラブが活発であるために、今何をすべきか？」では、どのグループも「会員増強」「地域に根付いたアクティビティ」「PR」というキーワードが出て意欲が感じられました。この勉強会を機に委員がより活躍されることを期待します。



100周年記念 コミュニティ・レガシー・プロジェクト

概要説明

目的: 100周年記念祭の間(2018年6月30日まで)に「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」を通して皆さんのコミュニティとつながりを持ち、ライオンとしての遺産を構築する。

計画: 参加には3つのレベルから選択します。皆さんのコミュニティの特定のニーズに対応する独自のプロジェクトを策定して下さい。

報告: MyLCIにてアクティビティ報告を行ないます。

表彰: 国際協会ホームページやライオン誌に掲載されることがあります。各事業レベルにつき、バナー・パッチ1枚が授与されます。

「100周年記念 コミュニティ・レガシー・プロジェクト」



レベル1

献血アクティビティや清掃奉仕、区民祭りでの資金獲得事業などが該当します。

レベル2

障がい者施設等の公共施設へ寄付、物品の寄贈、時計台の修理などが該当します。以前にクラブで設置された公園のベンチや看板の修理なども含まれます。

レベル3

病院や図書館などの建築が該当します。

ライオンズに入会して今思う事

地区PR・IT委員 中原 愛子

今期、地区PR・IT委員にチャレンジさせて頂き、多くの気づきがありました。

まず、他クラブとの交流で様々な立場や考え方を学ぶ事ができ、他クラブでも同じ「ライオンズメンバーと一緒に!!仲間だ!!」と思えるようになり合同アクティビティもたくさんのメンバーと行なうことができ、垣根を越えた付き合いができました。

それから、大事な所属クラブです。所属クラブでは会長・幹事・事務局員の方・ライオンズマンの存在の大切さに気づきました。会長・幹事の責任の重さは会議に出席する度に感じ、事務局員は心配り・心ある対応でフォローをして下さり、事務局員がいなければ委員は務めることができなかったと思っています。そして、ライオンズマンの存在ですが「厳しく教えてくれる・注意してくれる・ライオンズとは!!と語ってくれる」そのような方がいなくなると、ただただ騒ぐだけの集まりになり兼ねません。

人それぞれライオンズメンバーになる理由は異なると思いますが、私は「素晴らしい人格者」になりたい!という想いだけです。そのためには厳しく接してくれるライオンズマンの存在は恐怖でありながらワクワクする。そんな大切な存在だと思っています。

★編集後記★

地区PR・IT委員 中原 愛子

今回、編集に携わらせて頂き川野地区ガバナーのスローガン「夢と情熱」にもあるように皆さんの情熱・想い・努力を感じることができました。また、ゆうあいやフェイスブックを通してアクティビティや活動を紹介する事がライオンズクラブの奉仕活動に繋がっているのだとPR・IT委員会の活動で学びました。

これからも「We Serve We Smile」

ゆうあい

NO. 252

2016.12.15

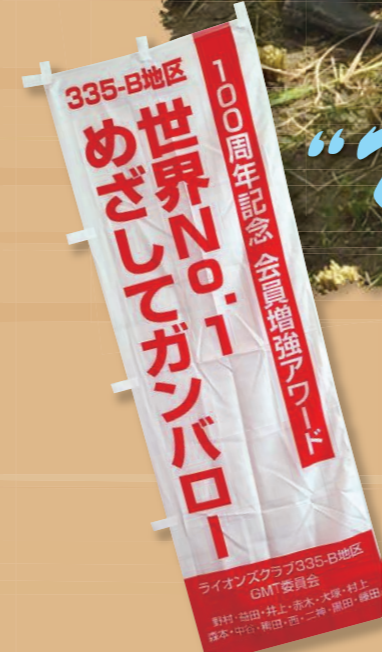
LIONS CLUB INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION

ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区広報誌



“We Serve, We Smile”

ライオンズは
もっと笑顔で、
もっと楽しく



発行者: 地区ガバナー 川野 浩史

発行: ライオンズクラブ国際協会 335-B地区PR・IT委員会

編集者: 委員長/久米 功一

委員/中原 愛子・中島 幸人・久留島 正平・古川 芳子

古澤 壮太・福永 敏隆・澤田 純一・大浴 天也

山崎 雅弘・西 太吉・茨木 延夫・北宅 実

事務局

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8

瓦町4丁目ビル2F

TEL:06-6222-7331

FAX:06-6222-7336

ホームページ <http://www.lc335b.gr.jp/>



ボブ・コーリュウ国際会長公式訪問

キャビネット幹事 佐野 圭一

9月7日、ボブ・コーリュウ国際会長公式訪問が京王プラザホテルにて開催されました。8複合35地区から総勢約600名のメンバーが出席しました。

カントリー&ウェスタンの曲が流れる会場に、コーリュウ国際会長と令夫人が入場されました。中村泰久国際理事より、テネシー州の元裁判官であるコーリュウ国際会長の数々の貢献や地域への奉仕活動等が紹介されました。また、5人の子供と5人の孫がおり、もうじき孫が2人増えるという和やかな話題にコーリュウ国際会長は笑みを浮かべました。

講演では、「国際大会から今日までに5,700名の新しいメンバーを迎えた。日本においては、1,367名が増員された。日本のクラブメンバーの活動は素晴らしい。国際会長テーマ『次なる山を目指して』は、1つの山(奉仕)を登るごとに次の山を目指す。常により良い奉仕をニーズのあるところに目指す。奉仕が必要な地域に新しいクラブを作る、優れたリーダーはクラブを強化する、メンバー増員はより良い奉仕につながる」と語られました。

コーリュウ国際会長の希望で新会員セレモニーが行われ、新会員が登壇し、コーリュウ国際会長からピンとバナーをプレゼントされました。新会員は、「入会時の誓いを忘れずに誇りを持ってピンを付けて下さい。ピンは世界最大の奉仕団体の家族である証です。言語・習慣・考え方が違って共通の思いで結ばれています。できるだけ時間・労力をクラブに費やして下さい。自分自身の目標達成の糧にもなります」と励ましの言葉を頂き、1人ずつコーリュウ国際会長と記念写真を撮りました。新会員にとって忘れられない日になったことと思います。その後閉会し、懇親会が和やかに行なわれました。

ボブ・コーリュウ国際会長ご夫妻



地区行事

第2回キャビネット会議

地区PR・IT委員長 久米 功一

11月21日、ホテルグランヴィア和歌山での第2回キャビネット会議が開催されました。

川野地区ガバナー、亀井元国際理事のご挨拶の後、アワード伝達があり地区ガバナー感謝状、地区ガバナーガバナーチーム優秀賞、LCIF感謝状等、前年度における地区役員の功績が称えられました。

リジョン・チェアパーソン報告では、どのリジョンも100周年記念やその他に関するアクティビティが活発に行なわれていて、会員増強においては、努力はしているが苦戦されているようなクラブもあるとのこと報告がありました。各種委員長報告では、野村GMT委員長より全リジョンの会員増強チーム会議に参加して各クラブが会員増強に取り組んでいることに感謝を述べ、数字にはなかなか表れてこないが、必ず結果は出るとの報告がありました。

坂本アラート委員長からは第1回アラートミーティング開催の報告があり、今後はSNSによる連絡をスムーズにすることが課題であることが述べられました。

どの委員長も現状を踏まえ、考え行動していく旨が発表され、終了しました。

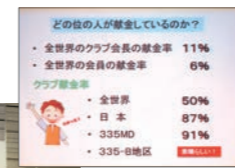


第4回LCIFセミナー

キャビネット委員 浅田 智美



榎本LCIF国際委員・エリアコーディネーター



10月24日、351名が出席のもと盛大に開催されました。

まず、白井LCIF委員長より当地区が世界上位のLCIF献金をしている事や、皆様から頂いたLCIF献金が東日本大震災や熊本地震やその他の災害時の多額の交付金や各クラブが申請できる一般援助交付金についてお話しされました。

夏LCIF地区コーディネーターよりLCIFの取り組みについて講演があり、大阪天王寺LCのL岡本昭が紹介されました。L岡本の今までの献金は102口です。100口献金で人道支援パートナーとして国際本部にお名前が刻まれます。

続いて国際協会の、2020年までに世界の7億人の子供達に麻疹の予防接種をする計画が紹介されました。(1人の接種金額は1ドルでビル&メリンダ・ゲイツ財団とマッチングで6000万ドル用意されます)

MJF1,000ドル献金5年間分割は、今期から20ドル献金を積立(分割)可能になったこと、そして1年に24回開催している例会時に10ドル献金積立し、これが1年で240ドルになり、5年でMJF1,000ドル献金となるシステムのご提案を頂きました。献金は現金だけではなく、VISA、Master、アメックス、ダイナース4種類のカードでも可能とお話し頂きました。

榎本LCIF国際委員・エリアコーディネーター(西日本)より、スクリーンの映像を見ながら、皆様から多く頂いている質問やMJF献金の決算書の扱いについて、単一クラブでできない大きな事業の資金を交付金で倍にするなど、LCIFは全世界のライオンズクラブを援助して青少年奉仕、災害援助、人道的奉仕、環境保全、医療などが行なわれている効率的なシステムであることをご講演頂きました。

有意義なセミナーとなりました。

FWT全日本女性フォーラム in 東京

FWT地区コーディネーター 西木 宣雄

10月21日、東京の衆議院憲政記念館に於いてFWT全日本女性フォーラムが開催され、464名が参加しました。イングバドター国際第2副会長は2年後に、ライオンズクラブ国際協会初の女性国際会長となる予定です。

基調講演では、まず全日本の女性会員の割合が25%に急上昇したことにお祝いを述べ、会員増強について「時間を持って余っている人より、忙しくしている人、タイムマネジメントができる人を誘うとクラブが活性化でき、新たなリーダー出現に期待できる」と自身の経験を語られました。また、「女性の声を上げていこう」と提案し、「励ましあい、そしてサクセスしよう」と高らかに理想を掲げられました。

後半は、内閣府政策統括官付参事官 相川哲也氏の講演「国の子どもの貧困対策について」、8複合地区の活動報告がなされ、335複合地区からは代表して笹部FWT委員長が報告されました。335複合地区主催「女性リーダー育成フォーラム」が来年の3月6日に開催されること、335-A地区は家族会員対象のお料理教室アクティビティを開催予定であること、335-B地区は8月31日FWTセミナーの報告、335-C地区は「THE GMT・FWT NEWS」を7月より毎月発行されていること、335-D地区は10月7日に会員増強成功事例発表会を開催された旨を報告されました。また、当日公務でご欠席された東京都知事のL小池百合子(東京ウィルLC)のビデオメッセージが届けられ「人口の半分は女性です。その女性を活かさないで勿体ない」「子育てか仕事かの二者択一をする国なんて聞いたことがない」という言葉など、女性としての心強い思いを聞くことができました。

ヘルスケアや教育分野など、女性ならではのきめ細かい奉仕が、ニーズの変化とともに地域社会で必要とされる時代の到来を感じさせるフォーラムでした。



イングバドター国際第2副会長



L小池百合子(東京ウィルLC)



笹部FWT委員長

周参見小学校でのライフジャケット贈呈式

地区アクティビティ委員長 洞淵 佳英

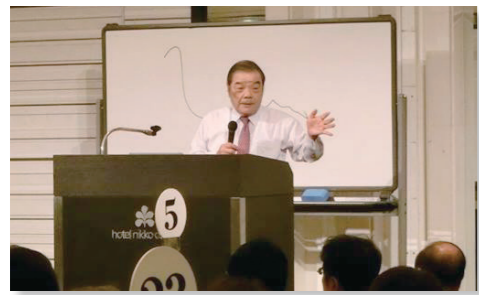
10月31日、和歌山県西牟婁郡すさみ町にある、すさみ町立周参見小学校にてライフジャケット贈呈式が行なわれました。すさみ町は津波到達時間が3分と言われています。海拔10mに満たない位置にあるこの小学校、避難塔が新設され、万が一のときはそこへ避難しライフジャケットを着て備える

よう訓練しているとのこと。ライフジャケットは小学1年生から6年生までの全校生徒に配布されました。子ども達は防災に対する意識が高まったことと思います。

災害が起こらないことを祈念するばかりです。



FWTセミナー 「輝く子どもの未来のために」 ～今、ライオンズとして何ができるのか～ 地区PR・IT委員 福永 敏隆



北畑335複合地区LCIFコーディネーター



NPO法人CPAO(しーぱお) 徳丸ゆき子さん



8月30日、ホテル日航大阪に於いて、約280名の出席者のもとFWTセミナーが開催されました。

まず、北畑335複合地区LCIFコーディネーターの講演「子どもの貧困を考える」は「知ってしまった者の責任として何が出来るのか考える必要がある」「子どもたちのプライドを傷つけない配慮と対応」「上から目線にならない支援」。ライオンズクラブの知恵と人脈と行動力を合わせて、行動をすることを訴えられ、とても素晴らしい講演でした。

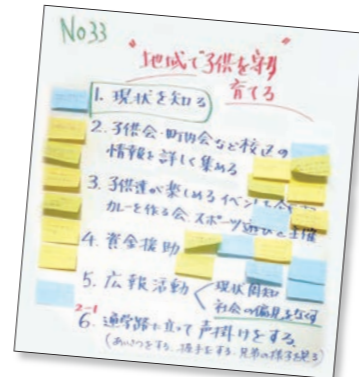
また、NPO法人CPAO(しーぱお)の徳丸ゆき子さんの講演では、3日間もごはんを食べていない子どもなど、実際にSOSを出している子ども達がたくさんいることが分かりました。「『まずは、ごはん!』からつながり支え合う仲間をつくり、なんとか生きていこうという思いで活動しています。子ども達が生きやすい環境をどのようにつくること

ができるのか私達大人に問われています。」

徳丸さんのとても感動的なお話を聞いて「何かせねば!」と思わずにはいられませんでした。

後半のワークショップではグループごとに「今、ライオンズとして何を出来るのか」「子どもの貧困に対するアクティビティとしてどう捉えていくか」などを話し合いました。

各テーブルの議論は高まり、奉仕に対する高い志で女性会員や家族会員ならではの細やかな意見や数々のアクティビティ案が発表されました。それぞれの発表に対して北畑335複合地区LCIFコーディネーターの助言もあり地区ガバナー方針の1つである「子どもに夢を与えるアクティビティに情熱を」に即した有意義なセミナーでした。



330-A地区 ライオンズクラブ国際協会 100周年記念「薬物乱用防止大パレード」

地区ライオンズクエスト委員長 河井 幸彦

10月29日、330-A地区主催、薬物乱用防止大パレード(東京)に335-B地区から川野地区ガバナーはじめ8名が参加しました。

パレードのコースは晴海通りをスタートし、数奇屋橋を巡り丸の内中通を通り、日比谷公園までの約2.9mです。警視庁音楽隊、チアリーディングの大学生、マーチングバンドの小学生など総勢500名が参加し、ライオンズクラブは

地元330-A地区を中心に北は北海道から南は沖縄までの全国から約600名を超えるメンバーが参加しました。

ニュースでも報道され、スケールの大きさにビックリしました!さすがは警視庁協賛のパレード!東京の道路を思いっきり占領できました。

近年、低年齢化するドラッグ使用を防止する大きな事業になったと思います。



NO!DRUG



FWTセミナーに参加するにあたり…

松原LC会長 野瀬 泰良

8月30日に開催されたFWTセミナーには当クラブから地区役員を含め5名が参加することになりました。

このセミナーは、いま大きく変わりつつある当クラブにとって、とてもタイムリーなものでした。松原LCは今期スタート時点でのメンバー数は71名で内家族会員は0名でございました。3年前に入会した家族会員は全員、前年度末で辞めてしまったからです。

しかし、今期の会長をお受けする私としては、このことで実はとても仕事がやりやすくなったのです。つまり、全く白紙の状態でも当クラブの家族会員制度を創り直すことができました。

そして今ライオンズクラブでは、アクティビティにメンバーの奥様を家族会員にして手伝ってもらおう、ライオンズ家族一丸となって奉仕活動しようとの流れになっています。

既に松原LCでは、メンバーの奥様数名が市内の天美地区で今年初めからNPOと一体となって

子ども食堂の奉仕活動をしているのです。

また今年もYCEの受け入れがありましたが、4名ものメンバーが積極的にホスト家庭に名乗りを上げて下さり、どの家庭でも奥様が前面に出て協力して下さいました。ですから松原LCでは、家族で奉仕活動しようとの考えに同意下さるメンバーの奥様はかなりおられると推定し、私は人数合わせではない、それまでの家族会員とは違う、メンバーに家族会員の顔が見え、話し合える「家族会員制度」、家族会員には誓約書も書いて頂き、目的意識と自覚を持って頂く「家族会員制度」を導入しようと決意しました。

この私の思いが伝わったのか、あれほど保守的だった当クラブの8月に実施された理事会、例会では、驚くことに満場の承認を頂いたのです。

セミナーで勉強したことを活かし、松原LCは335-B地区で家族会員創りのトップ(人数ではなく質的に)を走ろうと思っています。



「大阪梅田中央LC 菜の花支部」結成

クラブ支部会長 松木 桃子

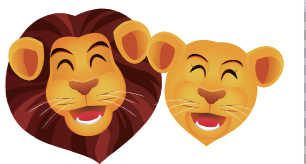
9月27日、大阪梅田中央LC 菜の花支部が結成されました。

「私たち菜の花支部は地域に根ざした奉仕活動を目指します!」私たちは今期、地区ガバナー方針「子ども達に夢を与えるアクティビティに情熱を!」「行政や地域に密着したつながりを、将来にもつなげるアクティビティを」を胸に地域イベントに積極的に参加・協力しライオンズクラブをPRし、またライオンズクラブの次世代を担う若手のコミュニティ作りを目指します。

最初のアクティビティは10月1・2日にうめきた2期区域で行なわれる「うめきた楽市楽座」のイベントに参加します。イベント内容は地域課題にある「食・健康・子ども・芸術・地域・防災」を楽しみながら解決、提案し新しい価値の創造をつくるイベントです。

「うめきた楽市楽座」とは、うめきた周辺在住の若手が中心となり新しく開発される「うめきた」が市民にとって利用しやすい、愛着が持てる、大切なエリアになるよう、うめきた開発に関わりながら、市民の声を行政に届けていくという活動をしている団体です。

今期、私たち菜の花支部はうめきた楽市楽座さんと共に地域に密着したつながりを広げていくためにライオンズクラブの組織力を生かし、うめきたを囲む地域の懸け橋になればと思います。



[第5期生] 第5回

受講生 家永 さつき (大阪コスモスLC)

8月22日、ホテル日航大阪で開催され、北畑335複合地区LCIFコーディネーターに講演頂きました。「リーダーシップ四方山話」と題して、各界の「めいげん」を実例とし、ある時は医者として、ある時は落語家として表現され、ケースに応じてリーダーシップを発揮すればよいとアドバイス頂きました。とても活動的で印象的な楽しい講演でした。次に、菅次世代リーダー育成地区コーディネーターより講話を頂きました。物静かで落ち着いた言葉でお話をされ、両講師の「動と静寂」を感じた講話でした。

続いては各受講生が「14日間のオリンピックのスポーツを交えてスピーチをする」という事でした。受講生も1年前の第1回スピーチよりは腕を上げて、自分を印象付けるために名前を最初と最後にし、「オリンピックは見なかったけれど…をしていたので、この競技には感動した」などと工夫され時間内にスピーチをされていたので、自己紹介のレベルがワンランク上がっているのがよく分かりました。

セミナーの後、懇親会があり参加者は「皆勤目指してガンバロー」と堅い約束をして散会しました。実りあるセミナーでライオンズの意識が高まりました。

「夢と情熱」をもって次世代を担うライオンに頑張るとエールを送り今後の活躍に期待します。



第6回

地区PR・IT委員 大浴 天也

10月28日、受講者15名が出席されました。菅次世代リーダー育成地区コーディネーターの「人生を成功に導く5つの要訣」と「幸福三説」についての講話から始まり、中村元地区ガバナーによる「ライオンズクラブの歩みや歴史を振り返って」等の講演がありました。

続いて楠GLT・次世代リーダー育成委員長による「チームワーク：関係の構築」と題して「素晴らしい成果を上げているチームの特徴」についてのセッションがありました。

どのお話しも、「なるほど」と勉強になる内容ばかりで、必死になって聞いている受講生の姿が印象的でした。



[第6期生] 第1回

地区PR・IT委員 中島 幸人

8月5日、第6期生にとって初めての第1回セミナーが開催されました。菅次世代リーダー育成地区コーディネーターより歓迎の挨拶があり、「つもりちがい十カ条」が教示されました。

続いて、受講者より自己紹介を兼ねたスピーチがあり、それぞれの個性が表れて、受講生の意欲が感じられました。



つもりちがい十カ条



第2回

地区PR・IT委員 茨木 延夫

10月31日、2回目となり、参加者30数名、意欲盛んなセミナーでした。菅次世代リーダー育成地区コーディネーターによる「日本を創ったリーダーに学ぶ」と題して、歴史上の著名者を各々挙げ、聖徳太子、源頼朝、織田信長、徳川家康、大久保利通等々をその歴史的背景や人物像から当時のリーダーは、如何にあるべきかの検証を興味深く解説、分析して頂きました。

続いて、楠GLT・次世代リーダー育成委員長による100周年を迎えるライオンズクラブ国際協会の歴史の解説の後、西村GLT地区コーディネーターより、リーダーシップについての基礎やグループ討議発表の場もあり全行程とも有意義なセミナーでした。



1R2Z

大阪曾根崎LC会長 難波 啓祐

9月6日、大阪マザーVBLCは「熊本地震災害復興支援Tシャツ」を着てキャビネット三役を迎えました。このTシャツは大阪マザーVBLCが作製され、ママさんバレーの大会などで販売されているそうです。地区ガバナーズローガン、「夢と情熱」をもってひとつになるで、がんばるモン！^_^



6R1Z

地区PR・IT委員 福永 敏隆

10月6日、6R1Zでは川野地区ガバナーによる国際会長・地区ガバナー方針のご説明と進み、アトラクションとして「70年代おやじフォーク満月堂の懐かしい歌・歌」で青春時代にタイムスリップした思いでした。9クラブ新会員22名の内11名が参加して、楽しい合同例会でした。



2R2Z

大阪桜之宮LC会長 稲田 勝利

9月13日、ホテル・ニューオータニ大阪にて行なわれました。前日、ボブ・コーリュー国際会長より当クラブのL豊池ヘスポンサー50名を達成した証である『Grand Master Key』が届きましたので、川野地区ガバナーよりサプライズの授与式をして頂きました。

現時点でスポンサー59人…会員増強の秘訣って…。L豊池おめでとうございます\(^o^)/次は100人(^.^)v



9R1Z

地区PR・IT委員 山崎 雅弘

10月14日、今年度の地区ガバナー公式訪問の最終日でした。地区ガバナー登壇にプロジェクションマッピングなど、華やかで和やかな例会となりました。

懇親会では美魔女の華麗なフラメンコで楽しみました☆☆これは、和歌山県民の「おもてなし」気質で、地区ガバナー歓迎の意を込めての演出でしょう。9R1Zも頑張っています。



9R2Z

地区PR・IT委員 山崎 雅弘

9月1日、各クラブの特色ある様々なアクティビティが紹介されました(^_^)北野ZCから各クラブに対して、和歌山にも忍びよっている薬物による犯罪から子ども達や地域を守るための薬物乱用防止教室やキャンペーンの実施を

進めて欲しいとの要望を受け、全てのクラブでアクティビティ予定に組み込まれていたことに9R2Zの団結力を感じました。



10R2Z

地区PR・IT委員 西 太吉

地区一番の遠隔地であり、人口密度が低い10R2Z。所属クラブが全て結成50年以上。少子高齢化・この地域ならではの問題も山積しています。しかし、ゾーン内の『繋がり・絆』が一番の自慢。秘訣はもちろん



「宴席」です。

9月15日、この日もキャビネット三役・吉村第2副地区ガバナーをお迎えし、賑やかに宴会を行ないました。



第1回メンバーミーティング



「335-Bアラートチーム」は205名が登録され、地域の防災を府県の垣根を越えて連携する関西広域連合とライオンズクラブが、協力して有事に備えることに調印して、防災・ボランティア意識のあるメンバーで構成されました。

10月22日、第1回メンバーミーティングが開催され、関西広域連合広域防災局 広域企画課長 平田様より『関西の広域防災・減災の取り組みについて』今まで東日本大震災へどのような対応をされてきたのかを教えてくださいました。続いて社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会主任 青木様より『災害時にも活かそう! 奉仕のチカラ』をテーマに「まずは自助・近助、決して無理はしない」「災害を待つのではなく、災害があってもなくても安心・安全・安住。平時の取り組みが最も大事である」とのお話がありました。

最後に335-A地区明石魚住LCの橋本維久夫より『「やってあげている」というような気持ちならやらない方がマシ。「奉仕」とは「仕」仕えて「奉」奉るとのこと。その心が無ければ真の奉仕はできません。共に支え合う気持ちが無ければ、本当のボランティアは出来ない』と熱く語り頂きました。メンバーの心に響いたのではないのでしょうか?

◆メンバーミーティングを終えた坂本アラート委員長に話を聞きました。

◎被災地支援で注意すべき点は何ですか?

▲被災地支援において特に注意しなければいけないことは、「的確なタイミング」による「的確な支援内容」の支援活動でなければならないということです。時間の経過に伴って被災地のニーズは大きく変化しますから、特に支援物資を送る際には、常にリアルタイムな情報の入手が必要不可欠となります。また、物資をダンボール箱に入れて送る際の注意点としては、1つの箱には同じものだけを入れること(1箱1アイテム)、また、ダンボールを開けなくても中身がわかるように箱の外側に何が入っているかをはっきりと明示することです。このことで、多忙な被災地で支援物資を仕分ける人たちの負担を大きく軽減できます。

◎身近で災害が起こったらまずできることは何ですか?

▲まずは、自分自身の安全を確保することです。安全が確保できたら第1に情報を集めること。地元の行政や社会福祉協議会などから、被害の状況やこれから必要となる物資などについての正確な情報を得ることです。その情報をFacebookなどのSNSを使って発信し、支援を呼びかけることで、全国のライオンズクラブメンバーからの迅速で的確な支援を被災地である地元地域に集めることができます。

インタビュー:地区PR・IT委員長 久米 功一

◎335-Bアラートチームの目指すところは何か?

▲災害支援に関する基本的な知識やスキルを身につけたチームメンバーが当地区(大阪・和歌山)内の各地域に存在し、いざ、災害が発生した際にはチームメンバー同士の連携とそのネットワークで迅速で正確な情報のやり取りを行い、被災地が必要とする支援活動を集中的に実施することで、当地区全ての地域を災害に強い、災害に負けない地域にすることです。

◎最後にひとことお願いします。

▲まだまだスタートしたばかりですが、「より実践力のあるアラート体制の構築」のため、災害支援に熱い気持ちを持つ総勢205名の【335-Bアラートチーム】メンバー皆さんの力を結集して頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します!!



台風10号災害支援ご報告

岩手県岩泉町小川地区

岩手県岩泉町小川地区へ支援頂いたクラブです。

- ・大阪桜之宮LC
- ・大阪マーガレットLC
- ・大阪コスモスLC
- ・岸和田コスモスLC
- ・下津LC
- ・松原LC
- ・河内長野LC
- ・藤井寺LC
- ・堺美原LC
- ・南大阪みささぎLC

他メンバー個人からも衣類や協力金の支援を頂きました。頂いた協力金は全て、台風10号被害に対する「アラートチームオールジャパン」の災害支援活動費として使われています。具体的には、①岩泉町への支援物資(ウエス・衣類・土のう袋・タオル・ミネラルウォーター等)の購入費用、②9月17日実施の久慈市でのボランティアへの炊き出し支援(中華どんぶり500食)の食材や燃料などです。



2016 東北復興支援レオ派遣プロジェクト

インタビュー:地区PR・IT委員 北宅 実
プロジェクトへ行かれた感想を大阪志学台レオクラブの阪谷レオ顧問と大前勝也レオクラブ会長に話を伺いました。

●東北福祉大学レオクラブとの交流会はいかがでしたか?

大前レオ会長:東北福祉大学レオクラブとの交流は大変有意義でした。出来たばかりのレオクラブなので、交流会では参考になればと当レオクラブの活動報告をパワーポイントを使ってさせて頂きました。意見交換の場では、互いのレオクラブのことについて質問し、どのようにクラブ運営をしているか、メンバーへの連絡をどのようにしているか等をお話しました。他の複合地区のレオクラブとの交流は志学台としても初めてなので、この繋がりを大事にしていきたいと思っています。



●防災庁舎を訪れて聞いたこと、感じたことをお聞かせ下さい。

L阪谷:まずご冥福をお祈りし、東日本震災で何が起きたのかを改めて知りました。14.5mという想像を絶する津波の恐ろしさ!実際に全員で走って分る津波の速さ!生死の明暗を分けたのは何だったのか?ということ。一番怖いのは、この事実を風化してしまうこと。案内して頂いた語り部の新沼さんの「心の復興はなかなか難しい」と仰った言葉が印象的でした。



大前レオ会長:私自身、ここには3回訪れており、盛り土などで毎回変わっていく景色には考えさせられます。このまま盛り土が進んで、防災庁舎がなくなると考えると、震災を思い出さずかけがえなくなってしまうのではないかと残念に思います。今回お世話になったユネスコの坂口さんが「何回か来てるけどバスを降りて近くで見るとは出来なかった。」ということで、今回は間近で見ることができ、大変貴重な経験をしました。



●東北に行く前と行かれた後で意外なことはありましたか?

大前レオ会長:東北支援事業への参加が3年目のメンバー、2年目のメンバー、初めてのメンバーといましたが、行く前と行った後では、やはり想像とは違うという声が多く聞かれました。夏だったため、津波で家が流され、空き地になっていたところは草が生えており、本当に家があったのかと思う場所がたくさんありました。しかし目を凝らして見ると家の基礎が残っていました。

L阪谷:民泊の方のお話では「東北を訪れる人が少なくなってきており、震災のことが風化されていくようで寂しい」と仰っていました。また高台の復興はまだ途中で、重機はあるが操作する人が少なく、殆ど稼働していない

大阪志学台レオクラブは9月2日から5日まで、3度目の東北支援派遣プロジェクトとして、岩手県と宮城県を訪れました。この事業は3年前より12R2Z合同「東北復興支援レオ派遣プロジェクト」として取り組んでいます。

スケジュール

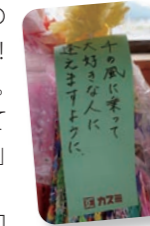
- 9月2日 出発
- 9月3日 早朝到着→南三陸町の防災庁舎見学→気仙沼の大島に移動し、牡蠣の養殖場にてお手伝い→現地の方のお宅へ民宿させて頂く
- 9月4日 陸前高田市に移動し、語り部の方からお話をお聞きする→気仙沼高校に伺い、生徒たちと交流→東北福祉大学のレオクラブと交流・意見交換会
- 9月5日 帰阪



様子でした。「東京オリンピックに向けて、多くの人の目がそちらの方へ向けられているのではないか」「国の予算も優先順位が下がってきているのではないか」と語り部の方は危惧されていました。

●今、私たちにできることはどのようなことだと思いますか?

L阪谷:気仙沼高校の学生との交流会を行なった際に「当校は高台に建っているため、被害を免れ、1人の生徒の犠牲もなかったけれど、地域住民の避難所として数ヶ月に亘り体育館は使えなかった」と聞きました。実際に現地に行ってみないと分からないこと、映像を通してだけでは伝わらないことが少なくないと感じました。少しでも多くのライオンやレオ達が現地を訪れ、自らが語り部となって警鐘を鳴らし続けることが一番の復興支援になるのだと思います。



大前レオ会長:レオクラブは金銭的な支援は難しいので、若い力を活かして現地向いての活動、または募金活動などの継続的な支援が重要だと思います。そして「震災を風化させない」ために、今回実際に訪れて得た経験を自分たちの地域にフィードバックすることだと思います。



阪谷レオ顧問、大前レオクラブ会長、貴重なお話をありがとうございました。

最後に...今夏は東北福祉大学にレオクラブが結成されたと知り、急遽交流会を開催して頂きました。ライオンズが結ぶレオの架け橋は新しい予感を感じさせました。ライオンズとレオの新しい活動の場が全国に融合し奉仕の輪を広げられるよう25周年を迎えた元気なレオたちと共にこれからも更に尽力したい、そして、これを糧にレオだけではなく、私達ライオンも少しでも成長できればと思います。

12R2Z 大阪志学台レオクラブ レオ顧問 阪谷 匡亮(羽曳野LC)

ライオンズ子どもの森 完成祝賀会

10月7日、石巻グランドホテルにおいて「ライオンズ子どもの森 完成祝賀会」が行われました。

「ライオンズ子どもの森」は2014~2015年度、当時の332-C地区の鈴木地区ガバナーと北畑地区ガバナーが「被災コミュニティ復活プロジェクト」として発案されたもので、当地区の各クラブより多くのご協力を頂きました。

新しく展望デッキやログ風トイレ、ターザンロープ、散策道の整備などが行われ、地元の住民や子ども達が遊びやすい施設となりました。

祝賀会には、335-B地区より、中村前地区ガバナー・

名誉顧問会議長を初め9名、また森を維持管理する一般社団法人「てあわせ」の後藤泰彦理事長や332-C地区関係者、地域の子も達が参加し、完成を喜び合いました。散策なども予定していたが中止し、ケアハウスの火入れをし、子ども達はアスレチックで遊びました。

後藤理事長は「多くの方々の協力により、休憩所、遊びの場と徐々に施設が充実してきた。来年はエコトイレの設置も予定しており、今後も多くの子ども達が伸び伸び遊べるようにしていきたい」と話していました。



9月9日 9R2Z 橋本LC
CN50周年 “夢” モニュメント

CN50周年記念アクティビティとして、橋本市運動公園噴水広場に「夢」をテーマにしたモニュメント(タイムカプセル用)を建立し、9月9日に橋本市長をはじめ関係者と市内17小学校の児童代表が集まって除幕式を行い、橋本市内の小学校6年生児童568名に作文を書いて頂いた“夢手紙”を埋設しました。児童らは「夢」に向けて進み、15年後に開封します。

記念碑には、市長の揮毫による「夢」の文字、更に「子ども達がふるさと橋本が 未来へ その又未来へ 夢つかむまで」と刻んでいます。2031年にタイムカプセルを掘り起こします。夢実現に向けて頑張ってください、その時ここで再会されることを楽しみにしています。



10月28日 3R2Z 大阪戎橋いとはんLC
CN45周年
「薬物乱用防止啓発運動」御堂筋パレード

10月28日、パレードが挙行されました。「薬物・危険ドラッグ乱用防止」のプラカードを掲げた川野地区ガバナー、津田元地区ガバナー、東RCを先頭に、ブラジルサンバチームの勢いも借り、集結した80数名のライオンが「薬物乱用、ダメ!絶対!」の力強いシュプレヒコールを発しながら、難波高島屋前～御堂筋～道頓堀(往復)～アメリカ村三角公園のルートで行進しました。パレード中は通常の観光客から行く先でスマホの被写体とされ、注目度は抜群でした。この日、みんながシュプレヒコールで声にした「人生を棒に振る薬物・危険ドラッグには絶対!手を出さないで!」の願いよ、届け!



10月23日 7R2Z 堺登美丘LC
CN50周年
「子ども達が米づくりを通して学ぶ食育」

田植えから始まった、3回で完結のアクティビティで稲刈りが無事終了してライオンズ米が収穫できました。6月、子ども達は田んぼに入り、どろんこになって苗を植えました。9月には田んぼの草刈りをしてお米を守る案山子を作りました。昼食にメンバーが工夫を凝らした流しそめんを楽しみました。

10月実りの秋!黄金色の稲をみんなで刈りました。先に取り込んだ新米を炊いて豚汁と一緒に頂きました。「ご飯だけでもこんなに美味しい!」、子ども達は笑顔でした。お米のお話やクイズをしたり、食べ物大切さ、食育も学びました。



7月16日 9R1Z 和歌山伏虎LC
CN30周年
吉宗像ライフジャケット着用推進キャンペーン

7月16日、海上や海浜での水難事故が多くなる7月に海上保安部と合同で「ライフジャケット着用推進キャンペーン」を行いました。このキャンペーンはCN30周年記念アクティビティとして和歌山県に寄贈した徳川吉宗銅像にライフジャケットを着用させ、ライフジャケット着用の重要性を訴えるアクティビティです。

今年度は啓発グッズ(防災ボトル)を海上保安部へ500個寄贈し、キャンペーン当日は和歌山マリーナシティにおいて啓発グッズ(防災ボトル)を配布しながらライフジャケット着用の呼びかけを行いました。人通りが少なかったように感じましたが、多くの方にPRできたのではと思っております。今年度で7年目を迎えましたが、毎年マスコミ等にも大きく報道されており、地域に密着した啓発活動として大きな成果があるものと考えております。引き続き今後もマリナーが隆盛となる7月にキャンペーンを継続していき、多くの方にライフジャケットの重要性を呼びかけていきたいです。



クラブアクティビティ

1R合同 「チャイルドケモハウス」理解を深めよう

11月12日、梅田茶屋町にある毎日放送(MBS)本社ビル1Fロビーのキャンサーフォーラム会場で1R合同の「チャイルドケモハウス」サポートアクティビティが行われました。

チャイルドケモハウスとは、神戸に所在する、日本で初めて設立された小児ガンの子どもと家族のための専門施設です。

1Rでは「チャイルドケモハウス」設立当初より色々なサポートをさせて頂いており、今年4月にも「チャイルドケモハウス」をサポートするためのチャリティーコンサートが開催されました。

今回、「チャイルドケモハウス」が会場でブースを設けて、一般市民向けの広報やTシャツやノベルティなどの物販を1RでRC・ZCが中心となってお手伝いをしました。メンバーやそのご家族、友人・知人の方々に来場頂きまして「チャイルドケモハウス」への理解を深めて頂きました。今後もより多くの支援をお願いしたいと考えております。



2R3Z合同 熊本地震復興支援 災害義援金

9月26日～27日、2R3Zは今年度、ゾーン合同アクティビティの1つとして熊本地震の被災地、益城町に対して復興支援災害義援金を贈ることになりました。義援金を直接現地へお渡するため、北野ZCを始め大阪鶴見LCのL井上、大阪マーガレットLCのL佐藤LCが益城町役場に西村町長を訪ね、1日も早い復興・町民の生活回復を願う思いをゾーンメンバー代表で伝えました。また、町役場職員は不休で頑張っておられるとのことで、未だ手つかずの状態が続いている現状を見てこれからも協力を惜しまない旨を伝え、引き続き見守っていきたく思います。



1R2Z 大阪曾根崎LC 「きょう 社会が子どもを守り あす 子どもが社会をつくる」

10月は里親月間。里親制度を紹介する街頭キャンペーンが6日、大阪市北区の繁華街で行われました。

親の事情で育てられない子ども達の里親探しをしている「家庭養護促進協会」の職員と大阪市児童相談所の職員・大阪曾根崎LCのメンバー・アクティビティカードを活用した他クラブ女性メンバーを含む約28人がおもちゃ付きのチラシを歩行者に配りました。

里親制度には、子どもを養子縁組する養子親、親が引き取るまで育てる養育里親、週末や正月に子どもを預かる週末里親があります。国内の里親などへの委託率は16.5%(2014年度)と欧米諸国に比べて低く、国は19年度までに22%に引き上げる目標を掲げました。

難波会長は「子どもにとって、特定の大人から愛情を受けて育つことは大切。制度を多くの人に知ってもらいたい」とマスコミ取材に対応しました。



2R3Z 大阪鶴見LC 熊本地震の被災地へ 防犯ブザー寄贈

5月24日、大阪鶴見LCは337-E地区7Zの人吉LCの協力により熊本地震の被災地、益城町・西原村・御船町及び熊本市の幼稚園に防犯ブザーを800個寄贈しました。これは、現地の避難所に於いて女性の方・子ども達を犯罪・体調の変動・けが等から守る目的のものです。

まだ復興が始まったばかりの現地に何か小さなことからでもお役に立ちたいと思うメンバー一同の思いからこのアクティビティが行われました。



2R3Z
大阪生野LC

福島グリーンLC
とともに



イーグルスの試合観戦にご招待しました。試合前には、憧れの選手より、サインボールも頂いて、子ども達は喜んでいました。2日目は、福島市の少年ソフトボールチーム(15名)と大阪市の少年野球チーム(約45名)の交流試合を箕東公園グラウンドで開催しました。炎天下の中、皆、元気に楽しく試合ができました。夕方からは、例会場KKRホテル大阪で、昼間のソフトボール試合の表彰式と交流懇親会を私達ライオンズメンバーも多く参加して、子ども達同士も皆、心が通いました。

3日目は、生野区民センターで日本けん玉協会指導員のもと、けん玉教室で楽しんでもらい、楽しい夏休みの思い出とともに新大阪駅より新幹線で福島に帰路につかれました。

2日目



3日目



1日目



2R3Z
大阪城東LC

第62回京橋駅空襲被災者慰霊祭

8月14日、大阪城東LCメンバーは第62回京橋駅空襲被災者慰霊祭に参列しました。

昭和20年8月14日、まさに終戦の前日、現JR京橋駅で起きた悲惨な出来事、B29爆撃機より落とされた複数の1トン爆弾が多数の乗降客を直撃、500名以上の人々が犠牲になりました。

これらの人達を弔うために慰霊祭世話人会の方々により毎年慰霊祭が開催されています。

大阪城東LCでは1984年(昭和59年)CN20周年記念事業として犠牲者の追悼とご冥福をお祈りし、釈迦牟尼仏尊像を建立し寄贈しました。また、駅前には「平和よ、永遠なれ」と記された台座の上に少年少女がオリーブの輪と羽根を広げるハトを掲げるブロンズ製平和の像を建立しました。

毎年、8月14日開催される慰霊祭には協賛アクティビティと多数のメンバーがご焼香に参列致します。



3R1Z
大阪港LC

自転車安全指導キャンペーン

8月2日、大阪府港警察署が自転車利用者への安全に対する啓発活動として自転車安全指導キャンペーンを開催されるといふ事で、大阪港LCのメンバー「信号を守らせ隊」も出動させて頂きました。

自転車も立派な車です。交通事故での責任は同じですので認識を新たにして頂きたいものです。



4R2Z
大阪コスモスLC

薬物乱用防止啓発運動
街頭キャンペーン

7月12日、大阪コスモスLCにおきまして、今年度第1回目の例会終了後に出席者全員で薬物乱用防止啓発運動を実施しました。

天王寺駅周辺でポケットティッシュと啓発運動のリーフレットを配りました。ちょうど、この時期は各所で若者に対する薬物乱用啓発運動が行なわれている期間でした。そして、学生達がちょうど下校時間だったので少し説明も加えながら手渡すことができました。

「ダメ。ゼッタイ。」の言葉を知っている人もいましたが、まだまだ続けていく必要のある活動です。

NO!DRUG



4R2Z
大阪大和川LC

第42回夏まつり

8月6日、長居障がい者スポーツセンターにて第42回夏まつりが開催されました。連日の猛暑日の中、たくさんの参加者で賑わいました。パターゴルフ大会では川野地区ガバナー、洞淵アクティビティ委員長もヘルプに入って頂きナイスアシスト! ホールインワンも出て委員長もガッツポーズ。

こども遊び広場では、学生ボランティアの魚釣り、輪投げなどを楽しみました。お昼休みは例会。

「徳」さんのお弁当ごちそうさまでした。午後からのお手伝いも元気に行なうことができました。

15時過ぎから空が真っ暗になり雨が降り出しました。竜巻注意報も出て、急遽駐車場のやぐらを体育館に移動。



屋内での盆踊りになりました。それでも住吉校下婦人部民謡会の皆さん揃いの浴衣姿で、踊りが始まると雰囲気盛り上がりみんなで輪になり踊りを楽しむことができました。サポーターズクラブのメンバーも駆けつけて下さり夜店の味を堪能しました。

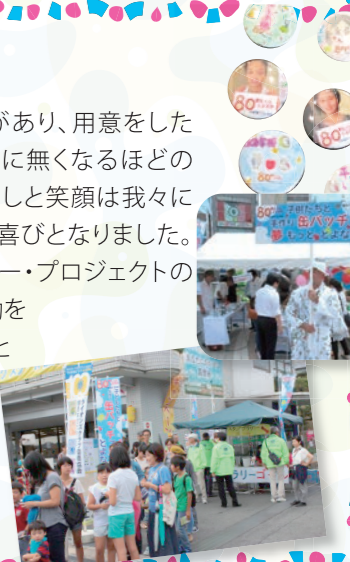
5R1Z
豊中LC

「子ども達と手作り缶バッジで夢もっととよなか」

今年度、地区ガバナーの方針「子ども達に夢を与えるアクティビティ」に沿ったアクティビティをしたいと考え、今年が豊中市制80周年であることを好機として、市のイベント4回にコラボする形で、手作り缶バッジコーナーを設置して、子ども達が描いたイラストやスマホで撮影した写真を型抜き機で抜き、プレスをかけて缶バッジを作成するというアクティビティを企画しました。

- ①9月10日「ジャンプフェスタ」
- ②9月22日「秋の交通安全フェア」
- ③10月15日「豊中市制80周年記念式典・講演」
- ④11月12日「豊中エコショップ/100店舗到達記念フェスティバル」で実施しました。

毎回、予想を上回る来場者数があり、用意をした缶バッジの材料がイベント終了前に無くなるほどの大人気で、子ども達の真剣な眼差しと笑顔は我々にとっても何にも代えがたい大きな喜びとなりました。100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトの旗も掲げ、ライオンズクラブの活動を一般市民にPRし、地域の子も達と豊中市制80周年を共に楽しんで祝うことが出来たと思います。



5R1Z
豊中中央LC

「秋のぶどう祭り」 in
豊中キャンドルナイト2016

9月18日、府営服部緑地公園で開催された「豊中キャンドルナイト2016」(豊中青年会議所主催)に私達、豊中中央LCは「秋のぶどう祭り」と称して参加、クラブメンバーより手配してもらった、シャインマスカット、ナガノパープル、ゴルビー、ピオーネの4種類を店頭販売しました。台風16号の影響であいにくの天候の中、「ぶどう串刺し100円」が大当たり、雨の中でも子ども達が群がり、風船をぶどうに見せてぶら下げた私達のテントは大盛況でした。

本来ならば20時まで開店予定でしたが、雨のため18時に閉店。キャンドルナイトのお手伝いもできず、残念ながら会場を引き揚げる事となりましたが、新しい取り組みに我がクラブにも多くの収穫がありました。



6R1Z
茨木オークLC

「ビッグバンドJAZZフェスタ
in 茨木」

7月30日、茨木市クリエイティブセンターホールにてビッグバンドJAZZフェスタを開催しました。この事業はCN30周年記念事業として始まり、今年で6回目になります。7バンドが繰り広げる魅惑のスウィング、誘惑のラテン、妖惑のポップスのjazzアレンジからジャズロックまで幅広い年代が楽しめるBIGBANDイベントです。

社会奉仕事業の一環として茨木フェスティバルにおいて、音楽と通じて市民の憩いの場を提供する事業として開催しています。事業資金募金と東日本震災復興チャリティーボックスを設置しました。

50代・60代中心のお客さんが定着し、楽しんで頂きました。



9R1Z
和歌山西LC

紀の川大堰・鮎の遡上見学及び
稚魚放流体験アクティビティ

和歌山西LCは、地元子ども達に「水の大切さ」「生き物の尊さ」を学習と体験・頭と体で感じてもらうことを目的に、和歌山河川国土交通事務所及び紀の川漁業協同組合の協力を経て『紀の川大堰・鮎の遡上見学及び稚魚放流体験アクティビティ』を開催させて頂きました。

放流体験前に、紀の川漁業組合の方から「紀の川はたくさんの鮎が卵を産みに来る場所。この美しい川をみんなも一緒に守ってほしい」と話して頂き、参加した和歌山市立宮北小学校5年生の児童たちは真剣な表情で聴きました。その後、色とりどりのバケツに10センチ程の稚魚を4・5匹ずつ入れ、全員で約1千匹を川へ放流しました。最初は恐る恐るバケツを傾けていた子ども達でしたが、するとと鮎が川へ入っていくと「大きくなれよー」などと声をかけて楽しんでいました。

紀の川の水は飲み水としても、農業や工業用としても大切な存在です。子ども達が実際に紀の川の水に触れることで、水の大切さを身近に感じてくれたら嬉しく思います。



9R1Z
和歌山ゴールドLC

「ディズニーオンアイス*
アナと雪の女王」鑑賞

8月8日、和歌山ゴールドLCでは、和歌山市内の児童養護施設「旭学園」の生徒と先生方、合計37名を大阪城ホールで開催したディズニーオンアイス「アナと雪の女王」に招待するアクティビティを実施しました。

これはクラブ会長の「私達のクラブの活動拠点となる和歌山市の児童養護施設の子供達に夏休みの1日を楽しんでもらいたい」という思いを実現させようと企画、実現したものです。

ライオンズクラブとして子ども達に伝えたい「正しい行ないをすることが生きていくこと」をショーで表現してくれていたため、子ども達はこのテーマが持つ感動を味わってくれたと思っています。

メンバーは改めて「この企画を実施して良かった」と感じることができました。地域社会に貢献することがライオンズクラブの使命ですから、子ども達に夢と希望を与えることは私達の大きなテーマです。本物のショーの感動は心に届きますし、いつまでも忘れない思い出となります。そして本物に触れることがその後の人生に影響を与えますから、子ども達への本物の体験を提供した今回のアクティビティで私達も満足感を味わいました。

後日、参加した全員から感想文が届きました。感動の余韻を残すアクティビティになりました。



8R1Z
岸和田コスモスLC

岸和田市立浜小学校にて

9月23日、岸和田市立浜小学校5・6年生79名に対し、授業時間45分間の内、麻薬撲滅DVD「ダメ。ゼッタイ。」を15分間鑑賞し、会員により、「薬物をするるとこのように怖い」という寸劇を20分間行ないました。先生には「ダメ。ゼッタイ。」君の着ぐるみに入って頂き、楽しく開催致しました。

後日、勉強した事をどう思ったか、アンケート用紙に記入して頂きます。



8R2Z
岬LC

「孝子交通安全看板下草刈り・
青少年の森の整備事業」

9月18日、23年前に国道26号線岬町孝子地区に設置した交通看板(2000%×3600%)の下草刈りと枝払い及び看板の水洗いを実施しました。

終了後、参加者10名で岬LCがつくった青少年の森にて恒例の焼肉パーティーをしました。



9R2Z
下津LC

老人福祉施設
「かぐのみ苑」へ車イスの寄贈

下津LC「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」に該当するアクティビティを委員会で発案し、全会員総意のもと、寄贈先の「かぐのみ苑」の希望に沿うよう、利用者の負担を少なくする装置を装備した、介護する側・される側にも使用しやすい車イスに「下津ライオンズクラブ寄贈」プレートをつけて寄贈致しました。

車イスは、クラブの代表的なアクティビティ「海南市下津文化祭チャリティーバザー」での収益金の一部より5台(135,920円)購入しました。贈呈式には会長以下会員5名が参加し、苑長の奥野氏へと手渡した後、介護職員さんと利用者さんに実際に使い心地を確認して頂いて、大変喜んで頂きました。

大正・昭和・平成と生き抜かれた人生の先達に敬意を表し、今私達が豊かな生活を享受できることに感謝し、「ウィーサーブ・ウィスマイル」なアクティビティを実施できたと会員一同大変喜んでおります。



10R1Z
紀伊田辺LC

第30回弁慶祭り!!

9月27日～10月1日、今年もやってきました!第30回弁慶祭り!!毎年、紀伊田辺LCは恒例行事として『餅まき』を行なっています!

田辺扇ヶ浜、特設会場舞台にてしましたよ～(ハ◇ハ)／ライオンズクラブ結成100周年ということもあり、気合いが入りました(ハ◇ハ)／



10R1Z 御坊LC 稲刈り体験

10月2日、夏かと思うほどの暑さの残る、良すぎる天候の午前中、御坊LC主催で地域の子供達と一緒に稲刈り体験を行ない、実りの秋を満喫しました。

今年の6月26日に地域の子供達と一緒に田植えをして、約3ヶ月の間、いよいよお米の収穫です。日照りが続けば大丈夫か?と思い、台風が近づけば心配したものでした。

メンバーの中には2週間に一度、必ず田んぼの様子を見に来てくれた人もいたようです。

農業の苦労や、ありがたさを子供達と共に感じられた1日でした。



10R1Z 白浜南LC ソフトテニス高校生大会

5月28日、白浜南LCでは白浜町・日置川町合併10周年を迎えるにあたり、青少年育成の観点から、御坊日高、田辺西牟婁、新宮東牟婁地域の高校生を対象に白浜町・日置川町合併10周年記念!!「ソフトテニス高校生大会」を白浜町テニスコートにて開催しました。

大会当日は参加高校12校で296名、148組のペアによるトーナメント戦で熱戦が繰り広げられ、応援のメンバー一同も熱くなる試合でした。

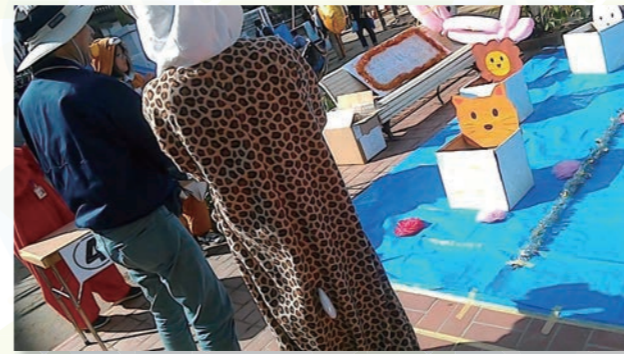


11R2Z 東大阪布施LC 「子どもの広場」 in 公德学園

10月29日、当クラブが継続してサポートしている公德学園で開催された「子どもの広場」に東大阪布施LCも参加してきました。

公德学園へはクリスマスの頃にもプレゼントを持って子供達に会いに行きます。

今日はゲームなど皆さんと一緒に楽しみ秋の陽射しが頬に暑く気持ちも熱く良い時間を過ごせました。子供達と会えて嬉しかったです。



11R2Z 東大阪中央LC 第33回東大阪市立中学校プラスバンド発表会

9月3日、当クラブが主催の第33回東大阪市立中学校プラスバンド発表会が開催されました。多くの中学校に参加して頂き、それぞれが日頃一生懸命練習してきた成果を思いっきり披露できたのではと思っています。聞く側も真剣なまなざしで他校の演奏を聴いており、大変意欲が感じられました。



10R2Z 合同 環境保全〈海岸清掃〉

11月2日、10R2Zは国立公園橋杭岩海岸で環境保全〈海岸清掃〉を行ないました。

この合同清掃奉仕は、川野地区ガバナーが奨励する「アクティビティを協力し合う」のテーマにも合致し、また本年度のライオンズクラブ100周年記念奉仕チャレンジ・キャンペーンの「環境を保護しよう」にも該当します。

作業は、主に打ちあがった流木などの漂流物の回収で、体積で約10トントラック1台分を回収しました。

3クラブは合同での環境保全事業に臨んだのは初めてでしたが大きな成果があったと思います。今後も継続していければと願っています。

また、翌日11月3日より秋の観光シーズンに伴い橋杭岩がライトアップされ、ジャストタイミングの10R2Z3クラブ合同海岸清掃例会でした。



11R1Z 東大阪LC ソーラー時計寄贈

7月15日、東大阪LCの100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト事業でソーラー時計の寄贈を行ないました。前年度の事業予定でしたが、東体育館の改修工事に合わせたため、今回の設置となりました。たくさんの方に見て頂けたらと思っています。



11R2Z 東大阪楠LC 司馬遼太郎記念館ボランティア春一番菜の花の会協力事業

10月10日、体育の日に司馬遼太郎記念館ボランティア春一番菜の花の会協力事業で、近隣の住民の方とライオンズメンバーの方々と、菜の花の種蒔きをしました。3000粒を蒔き1,000株育つでしょう。

また、秋の味覚金時芋掘り300株の収穫も行ないました。9時30分頃から12時まで皆さんお疲れ様でした。



11R2Z 東大阪D-S LC ガーデンエル・ロイ訪問

7月23日、クラブ結成当時からお付き合いをしているガーデンエル・ロイを訪問し、お米160Kgの寄贈、施設近くで催される地域の夏祭りへ子供達を引率、その後、花火大会を開催しました。

ガーデンエルは乳児院、ガーデンロイは児童養護施設です。家族に代わって子供達を預かり、見守り育てています。家族同様の生活をして、心のケアだけでなく、身体も元気に健やかに、のびのびとした毎日を送れるように活動されています。

毎年、東大阪ふれあい祭りで行なうバザーの収益でお米を寄贈しています。ただ物を渡すだけでなく、子供達と少しでも一緒に時間を過ごす事を大切にしています。その1つとして、近所の夏祭りに行ったり、持参した花火をしたり、そこには子供達の純粋な笑顔があります。その笑顔を胸にこれからのより一層のライオンズ活動に取り組んでいきます。





12R1Z 八尾菊花LC **第39回八尾河内音頭まつり**

9月11日、八尾市の夏の最大のイベント“八尾河内音頭まつり”も39回を迎え、今年も盛大に開催されました。我々八尾菊花LCも毎年献血活動を中心に福祉作業所支援(店舗ブース提供)やとうもろこしを焼いたり生ビールを販売したり、チャリティーオークション等、それこそ学園祭のノリで楽しんで参りました。

今年は献血、作業所支援、熊本地震復興支援の募金を行ない、そのPRのためにガス風船とスーパーボールすくいを無料で行なったところ、早い時間から長蛇の列。“愛の献血”八尾菊花LCとネーム入りのハート型ガス風船約1,000個を休みなしで膨らませ、お昼すぎにはガス切れで終了。

スーパーボールすくいもポイ(プラスチックの枠に紙を貼った物)を貼る作業に4人がかりで1,200枚。午後5時には全てなくなる程の大盛況でした。献血は400mlは62名、200mlは5名。募金は合計78,707円集まりました。

皆様ご協力有難う御座いました。



第1回菊花チャリティーゴルフコンペ

10月21日、北畑元地区ガバナーのメッセージ“ライオンよ、街に出よう!”を実践するため、これまでのライオンズクラブのチャリティーコンペとは趣を変えて、メンバーが日頃お付き合い頂いているノンライオンの方々をお誘いし、地域社会への奉仕を我々と共に体験し、ライオンズクラブの活動を理解して頂くために、八尾菊花LCメンバーとノンライオンの方々のみでのチャリティーコンペを開催致しました。

賞品も地元企業や商店等に予想を上回る物品を提供頂き参加者全員に賞品が行き渡りました。おかげで参加費の大半をチャリティーに回す事ができ、94名の参加を頂き80万円の収益を得ました。その収益金で八尾市内全小学校28校と19幼稚園に図書を寄贈させて頂きました。そして何より嬉しかった事は参加頂いたノンライオンの方々の中から我クラブに入会希望者が数名あらわれた事です。

アクティビティ資金獲得と会員増強の正に一石二鳥、やっぱり“ライオンよ、街に出よう”



12R1Z 八尾中央LC **来日生の歓迎会 “河内音頭の夕べ”**

去る7月23日、「河内音頭踊り」の本場、八尾市のグランドホテルで来日生の歓迎会“河内音頭の夕べ”を開催致しました。

来日生たちに河内音頭おどりの「指導」・「勉強」・「修了書」を手渡すまでが、八尾中央LCの役割です。言葉は通じなくても若い来日生たちの覚えの早いことに、我々八尾中央LC河内音頭同好会メンバーも指導するのにたじたじでした。

12R1Zの伝統アクティビティとしておよそ10年近く続いているこの文化事業に来日生たちも楽しく、笑顔で参加してくれている姿が、毎年見られる事にメンバーも幸せに感じています。

今、我々のクラブは若いメンバーも増え、大変気持ちが盛り上がっています。各委員会も積極的に参加して活発な意見も出ます。この来日生歓迎会“河内音頭の夕べ”で、一層クラブメンバーの団結が出来る事が、当クラブの大きな「仕事」であり「財産」であるとメンバー一同喜んでおります。

ガンバレ来日生!ガンバレ八尾中央LCメンバー!今後ともよろしく、イヤコラセードッコイセー!



12R2Z 富田林LC **レオクラブとの 合同アクティビティ!**

メンバー70名越えの大所帯!大阪志学台レオクラブは、大阪大谷大学の学生で構成されており、12R2Zがスポンサークラブとなり7クラブが一丸でサポートし運営されております。

今回、地域の盆踊り大会にて、富田林LCとレオクラブが両クラブ活動の啓発と一般参加の方との交流、レオクラブ事業活動資金の調達を目的に3夜連続で力を合わせて模擬店の設営から飾り付けをして出店しました。特に「焼きとおもろこし」や「かき氷」は早々に売り切れるなど模擬店も好評で、何よりメンバー同士が一緒に3日連続で汗をかいて取り組んだことで、より一層の連帯感、そしてレオに対する責任を改めて実感することが出来ました。利益は全て今後の活動資金として活用してもらるようにレオクラブに贈呈致しました。



6R2Z 守口LC

9月22日、守口LCの例会でL福田がLCIFアワードの伝達を受けました。入会してかれこれ54年という長きに渡りLCIFを始めて50回目のアワードです。毎年コツコツとして50回凄い事です。

まだまだ、頑張っしてほしいと思います。



10R2Z 串本LC

8月3日、今回の例会は作業例会という事で上浦海岸清掃を行なっています。メンバーの皆さん、ご苦労様です。尚、ゴミは消防署等の許可を得て燃やしています。暑かった(…)



12R2Z 南大阪みささぎLC

9月6日、第1例会が行なわれました。東北復興支援で大阪志学台レオクラブ派遣プロジェクトから帰阪したばかりの私と森幹事も元気に頑張っています。ゲストには岡田YCE・レオ委員長が労いにお越し下さいました。

本日はL中嶋の【ペットの飼い方】講座を行ないました。チェックリストを見ながらの講座はわかりやすく、ペットとの関わり方をしっかりと教えて頂きました。質問も飛び交ってました。困った時は獣医師のご主人に!

またこの日は、10月1日に行なう街頭募金の協力のため【藤井寺市聴言部会手話サークル】の皆様にお越し頂き、現状報告や活動資金の趣旨説明を行なって頂きました。当日はたくさんの方に募金のご協力を得られるように頑張りたいと思います。

今月のお誕生日はL荻野、L三谷。おめでとうございます。



9R1Z 和歌山西LC

8月2日、本日の例会は第1306回の納涼家族例会で大阪へ上陸しました。

この日の大阪は34度…暑かった(>_<)汗汗まず、吉本新喜劇を楽しみました♪

その後、『ニューミュンヘン南大使館』へ移動しライオン・レディやメンバーの娘さんなどにご参加頂き、華やかで楽しく過ごす事が出来ました。

ビジターで、大阪西LCのL山田賢一にもお越し頂き、和やか和やか例会でございました(*^^*)

計画委員長のL菊地、楽しい企画をありがとうございました~!!!!



11R2Z 東大阪布施LC

9月8日、この日の例会は「里親ふたば会」の代表が来られました。里親制度啓発40周年を迎えた現状、当クラブのメンバーの会社で作られた「里親制度を広めるためのピンバッジ『フォスターペアレントピンバッジ』」2,000個の説明をされ、多くの質問の時間もありませんでした。

生後間もない赤ちゃんに清潔な衣類を着せてあげて、里親のもとに連れて行きたい。行政からのお金ではそんなに多くは賄えない。現実とのギャップ、代表のお話は心に響き、「ピンバッジを作ろう」と心を動かされた当クラブのメンバーからクラブ全体に気持ちは伝わり、私もなるべく多くの人に知って頂きたいと思いました。

8月30日のFWTセミナーで子どもの貧困問題を勉強させて頂き、世の中の格差や矛盾がすぐには解決できないと感じながらも、1つでも少しでも人の気持ちが動けば修正できる部分もあると信じています。ピンバッジの事は読売新聞でも先月に取り上げられたそうです。クラブメンバーや事務局員で平均2個、ピンバッジを購入しました。僅かでも気持ちが集まってサポートできれば幸いです。

最近、合同例会などが続いていたので、昨日は久しぶりの東大阪布施LC例会で出席率が高く良かったです。お誕生日メンバーも多く、ハッピーバースデーソングを皆さんと歌ってお祝いし、ワインやお酒のプレゼントをしました。

次の例会では、他クラブから訪問して下さるお話もあり、楽しみです。

